

# 第 1 回 授業研究会

研究テーマ

自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして  
～情報活用能力を育てる授業デザイン～

## 4 年 社会科 災害からまちを守るために

日時 平成 28 年 7 月 6 日（水）5 校時 4 年 3 組 教室

授業者 川崎市立中原小学校 藤沢俊太教諭

指導・講評 川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター  
草柳 讓治指導主事

13:15

13:30

14:15

14:30

16:00

受付 (体育館)	授業公開 4 年 3 組教室	移動	全体会 研究協議 (体育館)	指導講評
-------------	-------------------	----	----------------------	------

# 第4学年3組 社会科指導案

指導者 川崎市立中原小学校 藤沢俊太

1. 日時・場所 平成28年7月6日(水) 4年3組教室

2. 単元名 災害からまちを守るために

3. 単元の目標

◎火事から人々の安全を守ることに興味をもち、身近な消防施設や消防署を調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きを知り、そこに従事している人々の工夫や努力を考えるようにする。

4. 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
○火事から地域を守るための取り組みに関心をもち、消防署や地域の取り組みについて意欲的に調べたり、地域や自分の身を守るために自分にできることを意欲的に考えようとしたりしている。	○火事から地域を守るための施設、消防署を中心とした関係諸機関について、その役割や意味を考えるとともに、地域の一員として自分にもできることを考え、それらを表現している。	○火災件数や焼損棟数のグラフなどを適切に読み取り、消防士の工夫や学校、地域の消火施設などの火事の被害を防ぐための情報を集めている。	○消防のための施設や計画の意味と役割、消防署を中心とした消火や防火の工夫と努力、消防署・関係諸機関・地域の人々が相互に協力・連携しながら地域の安全を守っていることを理解している。

5. 単元と児童

(1) 単元について

本校は大きな道路に面しており、消防車が行き来する様子を目や耳にする機会が多かったり、学校のすぐ裏に消防団の倉庫があったりと消防は子どもたちにとって身近な存在である。しかし、火事が起きた時には消防士が火を消しているというイメージはもてていても、具体的な消火や防火の工夫、関係諸機関との連携については考えることのできていない子どもたちの姿が多く見られる。また、日常的に避難訓練をしていたり、校内にある消火器や防火扉を目にしたりしていても、その設置の目的や意味については考えることのできていない子どもたちも多い。

そこで本単元では、火災現場の挿絵資料から考えた疑問やあいまいな点を調べるために、消防士の方の努力や工夫、学校や地域など身近な消防施設について学習していく。自分たちの地域が火事に備えた様々な消防施設や取り組みがあり、たくさんの人々の努力や協力によって守られていることを知ることで、学習したことを根拠に自分たちにできることについても考えることができるようにしていきたい。

(2) 児童について

素直で活発な子どもたちである。教師の指示を聞き、行動に移すことができる子どもも多い。一方で、自ら気づいたことをもとに考えを深めたり、自らが感じた疑問を探求的に調べたりしていくという点ではまだまだ個人差が見られる。

そこで、本単元ではどの子どもたちも探求的に調べ学習に取り組むことができるよう、多くの疑問があがり、その資料だけでは解決することのできない挿絵資料を火事についてのイメージを共有した後の単元の導入段階で活用する。子どもたちの考えに違いが生まれる場面では意図的に問い返したり、揺さぶりをかけたりすることで子どもたちの「本当はどうなんだろう？」という調べる意欲を引き出したいと考えている。また、インターネットや図書資料からだけでは解決できない疑問についても、実際に消防士の方に質問する活動を設定し、子どもたち自身が感じた疑問を自らが中心となって解決していく喜びや達成感を感じてほしいと考えている。本単元を通して学習したことを今後の社会科の学習や他教科の学習にも活かしていきたい。

## 6. 研究テーマに迫るための手だて

### (1) 情報活用能力を育てるために

#### ○グループ編成の工夫

給食や清掃活動の生活班とは別に、本時の中では3人～4人の編成で話し合い活動を行う。一人ひとりが発言できる機会を増やし、より活発な話し合いにするために生活班よりも人数の少ない班編成とした。また机の配置についても、机の移動は行わず、話し合いをするメンバーがより近い位置で話ができるような配置とした。

#### ○付箋紙の活用

本時で使用するメインの挿絵資料を読み取る際にグループで付箋紙を活用する。付箋紙を活用することで、情報量の多い資料の読み取りでも、それぞれが着目した点や話題となっている箇所が視覚的に理解しやすくなると考えた。また、見つけた事柄が増えるのに併せて、資料に貼り付けた付箋紙も増えていくことが視覚的にわかることで、子どもたちの意欲にも繋げたいと考えている。

#### ○放送番組や動画クリップの活用

教科を問わず、日常的に放送番組や動画クリップを活用している。授業の中で使用する場面と使用する意図やねらいを明確にすることで、子どもたちにとって効果的な学習になると考えている。

本単元では、図や表だけでは理解しにくい「119番のしくみ」について、NHK for schoolの動画クリップ『火災から人を守る』を視聴する。また、消防体験や消防士の方へのインタビューだけではわからない努力や工夫、災害発生時の一刻を争う対処の様子を理解するために、学習のまとめとしてNHK for schoolの放送番組『知っトク地図帳～消防署～』を視聴する。単元の最初には、火事の被害の大きさや燃え広がる速さのわかる動画クリップを視聴し、全員が火事に対する共通のイメージをもてるようにした。

### (2) 日常的な取り組みについて

#### ○ICTの活用

授業の中で日常的にテレビやパソコン、教材提示装置といったICT機器を活用している。子どもたち自身もICT機器の有用性に気づき、授業の中でも「これはテレビに映した方がわかりやすいんじゃない？」などの声が聞こえるようになってきた。自らの考えを説明するときにも「テレビに映して説明したい！」と自然と子どもたちから活用してみたいという意欲が出てきている。今後は、テレビや教材提示装置、タブレットPCなどそれぞれのICT機器の有用性を考えながら、教師だけでなく子どもたちが主体的に活用していくことができるようにしていきたいと考えている。

#### ○グラフの読み取りの指導

4年生の6月までに、算数の「折れ線グラフ」、理科の「天気と1日の気温」、社会科の「事故・事件のないまちをめざして」「水はどこから」など学習の中に多くのグラフ資料が登場してきている。特に社会科ではグラフの読み取りからあがった疑問や気づきが直接、学習問題につながる場合も多い。本単元でも火災件数や焼損棟数などのグラフから読み取った事柄から学習問題に繋がっていく。そこで4月からグラフの読み取りの指導を重点的に行ってきた。読み取りの基本的なポイントとなる縦軸や横軸、出典やタイトル、変化のしかたなどその都度確認してきただけでなく、教室掲示として残すことでいつでも確認できるようにしてきた。

7. 本単元で育てたい情報活用の実践力

【あつめる力】 自らが設定した学習問題の解決に向けて、適切な手段を選んで情報を集める

【なかもわけする力】 資料の読み取りを通して集めた情報を課題に沿って分類・整理する

8. 指導計画 全 10 時間

時	評価規準	主な学習活動	学習活動ごとに育てたい【情報活用の実践力】 ☆手だて
1	(関)火事の恐ろしさについて考え、自分や家族がどのようなことに気を付けているか進んで話し合っている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">火事について考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○火災現場の写真から気が付いたことを発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな炎が上がっている</li> <li>・消防士の人が火を消すために水を出している</li> <li>・焼けてしまった部分が黒く焦げてしまっている</li> </ul> </li> <li>○火事が起きたことを考え、火事の恐ろしさについて考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・家がなくなってしまう</li> <li>・大きなけがをしたり、命を落としてしまったりするかもしれない</li> <li>・火が燃え広がるのが速いからこわい</li> </ul> </li> <li>○火事を防ぐために自分や家族がどのようなことに気を付けているか考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族がいないときには火は使わない</li> <li>・家ではどのようなことに気を付けているのかな</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆写真資料の他に動画資料も視聴、図書資料の読み聞かせを通して、火の燃え広がる速さや火事の恐ろしさについて視覚的に理解できるようにする。</p> <p>☆テレビや新聞などを通して知っていることや感じていることなど火事についてのイメージを多く挙げさせるようにする。</p> <p>☆自分自身が気を付けていることだけではなく、家庭での取り組みについても関心をもてるようにする。</p>
2	(思) 資料の読み取りを通して、様々な人が火事の現場に携わっていることについて予想を考え、表現している	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成 26 年の川崎市の火災件数を知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 381 件ということは 1 日に 1 回以上の火事が起きているということだね</li> <li>・自分たちの身近でそんなに火事が起きているなんて知らなかった</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">火事の現場には、どのような人がいるのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「火事の現場の様子」の挿絵資料を見てグループで話し合う。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く火を消すために消防士の人たちが水をかけている</li> <li>・けがした人を病院に連れて行くために救急隊の人たちが救急車に運んでいる</li> <li>・見ている人が近付かないように警察官の人たちがロープを張って止めている</li> <li>・電気を止めるために電気会社の人たちが電線の工事をしている</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆現場の様子をわかりやすくするために音声とともに挿絵資料を提示する。</p> <p>☆それぞれのグループが着目した人や何かをしている位置が視覚的に理解できるようにするために黒板に掲示した挿絵資料にすべてのグループが見つけた分のシールを貼らせる。</p> <p><b>【あつめる力】 課題に沿って必要な情報を集める</b> →資料に登場する人に着目し、必要な情報を集める</p> <p><b>【なかもわけする力】 資料の読み取りを通して集めた情報を分類・整理する</b> →資料に登場する人の行動の意味に共通する事柄を整理して考える</p>
3	(知)大きな火事が起きた時には、関係諸機関が相互に連携することで、被害を軽減していることを理解している。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">火事が起きた時には、どのようにしてたくさんの人が集まってくるのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事の現場には消防士以外にもたくさんの人がいたね</li> <li>・早く火を消さないといけないからすぐに連絡がいくんじゃないかな</li> <li>・交通事故の現場の 110 番のようなしくみになっているんだと思う</li> <li>・消防車や救急車を呼ぶときには 119 番というのを聞いたことがあるよ</li> </ul> <p>○119 番のしくみについて知る。</p>	<p>☆本時の中で挙げた疑問や確証が得られない部分については次時以降に調べていくことを確認する。</p> <p>☆交通事故の現場では、他の機関と協力して活動していたことを想起させる。</p> <p>☆図だけでは理解しにくい点や、災害発生時の一刻を争う対処の様子を理解するために動画クリップを活用する。 ・NHK for school 動画クリップ『火災から人を守る』</p>

4	(思)これまでの生活経験から消防士の人々の工夫や努力を予想している。	<p>○「川崎市の焼損棟数」のグラフを読み取り、学習問題を立てる。</p> <p>すぐに火を消すために、消防士の人々はどのような工夫をしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事が起きた時にいつでも出動できるように準備をしている</li> <li>・消防士の人々が火事の時に備えて訓練をしているのを見たことがある</li> <li>・指示を出す人や火を消す人など役割を分担していると思う</li> </ul>	<p>☆「全焼」や「ぼや」など火事の程度を表す言葉については補足説明する。</p> <p>☆「全焼」や「ぼや」の件数を予想してからグラフを見せ、「ぼや」の件数に着目できるようにする。</p>
5	(技)教科書や副読本、インターネットを活用して、消防士の工夫や努力について調べている。	<p>すぐに火を消すために、消防士の人々はどのような工夫をしているのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械や道具の点検を欠かさずにしている</li> <li>・いつでも出動できるように防火衣と長靴を準備してある</li> <li>・実際に消防士に人々に聞いてみたい</li> </ul>	<p>☆予想をしたことをもとに調べ学習を進めていくことを確認する。調べたことをクラスで共有する時間を設定し、実際に消防士の人々に聞いてみなければわからない事柄を精選しておく。</p> <p><b>【あつめる力】課題に沿って、必要な情報を集める</b> →図書資料やインターネットなど適切な手段を用いて必要な情報を集める</p>
6 7	(知)調べたことやインタビューを通してわかったことから、消防士の人々が様々な工夫や努力をしていることを理解している。	<p>消防体験をしよう。</p> <p>○消防車見学、防火衣、空気ボンベのグループに分かれ消防体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消火用のホースがこんなに長いなんて知らなかった</li> <li>・素早く防火衣を着るのは大変そうだな</li> </ul> <p>○消防士の人々の工夫や努力についてインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通報があってから出動までどのぐらいの時間がかかるのかな</li> <li>・訓練や道具の点検はどれぐらいやっているのだろう</li> </ul>	<p>☆クラスごとに3つの場所をローテーションして体験する。その都度、感じたことや疑問に思ったことをメモできるようにしておく。</p> <p>☆インタビューを通してわかったことだけでなく、実際に自分が体験してみて思ったことや感じたことをメモに残しておく、消防士の人々の工夫や努力について考えられるようにする</p>
8	(思)学校内に設置された防火設備の数や位置から、設置目的や設置理由を考えている。	<p>火事を防ぐために、学校の中にはどのような設備があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消火器が様々な場所に散らばって設置されているのはどこで火事が起きてもすぐに火が消せるようにするためかな</li> <li>・火が燃え広がるのを防ぐために会談に防火扉があるのかな</li> <li>・どこで火事が起きてもすぐにわかるように熱感知器や煙感知器があるんだ</li> </ul>	<p>☆消防体験や消防士の方へのインタビューだけではわからない努力や工夫、災害発生時の一刻を争う対処の様子を理解するために放送番組を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK for school 放送番組『知トク地図帳～消防署～』</li> </ul> <p>☆事前に校内の防火設備の場所を確認しておく、見つけることのできない児童には写真を提示して、その場所と役割について考えることができるようにする。</p> <p>☆設置場所を書き込める校内の全体図を準備しておく、配置の様子から計画的に設置されていることに気が付けるようにする。</p>
9	(思)地域に設置された防火設備の数や位置から、設置目的や設置理由を考えている。	<p>火事を防ぐために、地域にはどのような設備があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路には消火栓や防火水槽の標識があった</li> <li>・通学路に消火栓がいくつもあった</li> <li>・学校の裏には消防団の倉庫があるよ</li> </ul>	<p>☆地域にある防火施設の写真を準備しておく、児童が調べてきたものを全体で確認できるようにしておく。</p> <p>☆設置場所を書き込める地域の地図を準備しておく、配置の様子から計画的に設置されていることに気が付けるようにする</p> <p><b>【あつめる力】課題に沿って、必要な情報を集める</b> →実際に校内や地域を歩き、必要な情報を集める</p> <p><b>【なかまわけする力】集めた情報を比較・分類する</b> →集めた情報をもとにその役割や設置場所の意図を関連付けて考える</p>
10	(関)これまで学習してきたことをもとに、火事に備えて自分ができることを考えている。	<p>火事を防ぐために、自分たちにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火の怖さがわかったので、今まで以上に火の扱い方に気をつけていきたい</li> <li>・地域にある防火施設について家の人にも伝えたい</li> <li>・ガスの栓やタバコの火など自分で確認できるものは確認したい</li> </ul>	<p><b>【あらわす力】自分の思いや考えを表現する</b> →これまで学習してきたことを根拠にして、自分の思いや考えを表現する</p>

本時の指導 (2/10)

- (1) 本時の目標 資料の読み取りを通して、様々な人が火事の現場に携わっていることについて予想し、表現している
- (2) 本時で育てたい情報活用の実践力 【なかまわけする力】 資料の読み取りを通して集めた情報を課題に沿って分類・整理する
- (3) 本時の展開

主な学習活動	学習活動ごとの育てたい【情報活用の実践力】 ☆手だて
<p>1. 前時までの振り返りをして、平成 26 年の川崎市の火災件数を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事が起きると大きな被害が出る</li> <li>・火はものすごい速さで広がるので、火事は怖い</li> <li>・381 件ということは 1 日に 1 回以上の火事が起きているということだね</li> <li>・自分たちの身近でそんなに火事が起きているなんて知らなかった</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>火事の現場には、どのような人がいるのだろうか？</p> </div> <p>2. 「火事の現場の様子」の挿絵資料を見てグループで話し合う。</p> <p>○挿絵資料の中から「〇〇している人たち」を見つけて、付箋に書いて貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火を消している人たち</li> <li>・けが人を運んでいる人たち</li> <li>・ホースをつないでいる人たち</li> <li>・ロープを張っている人たち</li> <li>・電線の工事をしている人たち</li> <li>・火事の様子を見ている人たち</li> </ul> <p>○それぞれのグループが見つけた「〇〇している人たち」を発表する。</p> <p>○「〇〇している人たち」が「何のために〇〇している」のか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く火を消すために消防士の人たちが水をかけている</li> <li>・けがした人を病院に連れて行くために救急隊の人たちが救急車に運んでいる</li> <li>・見ている人が近付かないように警察官の人たちがロープを張って止めている</li> <li>・電気を止めるために電気会社の人たちが電線の工事をしている</li> </ul> <p>○それぞれがしている「何のために」に共通する事柄を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの人も火事に関係していることをしているのかな</li> <li>・どれも火事の被害を少なくするためにしていると思う</li> </ul>	<p>☆前時に火事の様子を伝えるニュースを視聴し、大きな火が上がる様子や大きな被害が出ることを視覚的に理解できるようにしておく。</p> <p>☆現場の様子をわかりやすくするために音声とともに挿絵資料を提示する。</p> <p>☆それぞれのグループに挿絵資料と付箋を準備する。</p> <p>☆それぞれのグループで貼った付箋の位置がわかるように、黒板に掲示した挿絵資料にすべてのグループが見つけた分のシールを貼らせる。それぞれのグループが着目した人や何かをしている位置が視覚的に理解できるようにする。</p> <p>☆それぞれのグループで考えた「〇〇している」に着目できるよう、話題となっている人を拡大して TV に映す。</p>
<p>3. 本時の振り返りをし、次時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事の現場には消防士以外にもたくさんの方がいることがわかった</li> <li>・火事の現場では誰がどんなことをしているのかもっと詳しく知りたい</li> <li>・たくさん「〇〇のために〇〇している」があったけど本当なのか調べたい</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>消防士の工夫や様々な人の協力によって、私たちのまちは火事から守られているのではないか</p> </div> <p>☆本時の中で挙げた疑問や確認が得られない部分については次時以降に調べていくことを確認する。</p>

評価規準	(思) 資料の読み取りを通して、様々な人が火事の現場に携わっていることについて予想し、表現している
------	---